

佳作

ニジイロクワガタがやってきた

茨城県 日立市立助川小学校一年 白土 奨真

ぼくは、ちいさいときからこんちゅうがすきです。二ねんまえのなつやすみに、こんちゅうのとくべつてんじを、かぞくとみにいきました。ずかんでしかみたことのなかったしゆるいのかぶとむしやくわがたがたくさんいて、わくわくしながらながめていました。

ヘラクレスオオカブトやニジイロクワガタのてんじでは、ほんもののこんちゅうにさわれたので、とてもうれしかったです。

てんじかいのなかで、くじびきのコーナーがあり、そこでニジイロクワガタのようちゅうをもらいました。ぼくはうれしくて、うれしくて、さっそくおうさんとようちゅうをそだてるためのじゅんびをしました。しいくケースをよういして、つちをいれてニジイロクワガタのようちゅうのうちをつくりま

した。

まいにちケースをのぞいて、ようちゅうがうごいたつちのあとをかくにんし、すこしずつおおきくなっていくのがわかりました。

ニジイロクワガタは、あたたかいちいきにせいくするくわがたです。ふゆはさむいのでひえすぎないように、ケースをはっぽうスチロールとしんぶんしでかこいました。

そだてはじめて一ねんがたったあきのことです。しいくケースのあたりからふしぎなおとがきこえてきました。

「カチカチ、カチカチ。」

はじめはなんのおとか、わかりませんでした。ドキドキしながらしいくケースにみみをあてると、おなじおとがきこえました。

「なかからおとがするよ。」

ぼくはおどろいて、おとうさんをよびました。おとうさんもおとをきくと、おどろいたかおをしてみました。

そつとケースのふたをあけてみると、つちのうえにきらきらとかがやくニジイロクワガタがいました。せいちゅうにうかしたのです。

「うわぁー。すごい！」

ぼくはおどろいて、こえをあげました。

みどり。あか。きん。あお。かくどをかえるといろがかわってすぐきれいなニジイロクワガタ。せいちゅうまでそだてられるかすぐふあんだったので、きらきらとかがやくすがたに、うれしさとおどろきとほっとしたきもちがまぎって、まるでニジイロクワガタのからだのいろのようでした。

なつをすぎてからせいちゅうになったので、さむいふゆをこせるのか、しんぱいでした。

さむいふゆは、すこしでもあたたかいばしょでしいくケースをかこい、ぶじにふゆをこすことができました。

ことしのなつ。ニジイロクワガタは、てんごくへたびだちました。この二ねんかんで、いきものをそだてることのたいへんさによるこびをしりました。おわかれのさみしさやかなしさ。おもいでのおたかき。

ニジイロクワガタのせなかのようなきらきらかわるいろみたいに、ぼくのこころもきらきらかがやくにじいろであふれたまいにちでした。